

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公表番号】特表2011-507880(P2011-507880A)

【公表日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-539775(P2010-539775)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/196	(2006.01)
A 6 1 K	31/675	(2006.01)
A 6 1 K	31/4184	(2006.01)
A 6 1 K	31/7076	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/506	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/196	
A 6 1 K	31/675	
A 6 1 K	31/4184	
A 6 1 K	31/7076	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	35/02	

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月1日(2011.12.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明の組み合わせ剤が、本明細書で記載された有益な効果をもたらすことは、確立された試験モデルによって示され得る。当業者は、このような有益な効果を証明するための関連の試験モデルを十分に選択し得る。本発明の組み合わせ剤の薬理学的活性は、例えば、臨床試験で、または、本質的に下で記載した試験手順で実証され得る。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

結果

両方のc-abl阻害剤ともB-CLLリンパ球をクロラムブシルに感受性とする

合計21人のCLL患者がこの試験に参加した。13人の患者は、臨床的に処置されておらず(患者1から13)、8人は予めクロラムブシルでの治療を受けていた(処置患者14から21)。患者の年齢の中央値は72才であり(45才から90才の範囲)、WBC数

の中央値は $8\ 3\cdot7 \times 10^9$ 細胞 / L ($3\ 2\cdot8\ 7 \times 10^9$ から $2\ 5\ 6\cdot2\ 7 \times 10^9$ 細胞 / L の範囲) であった。